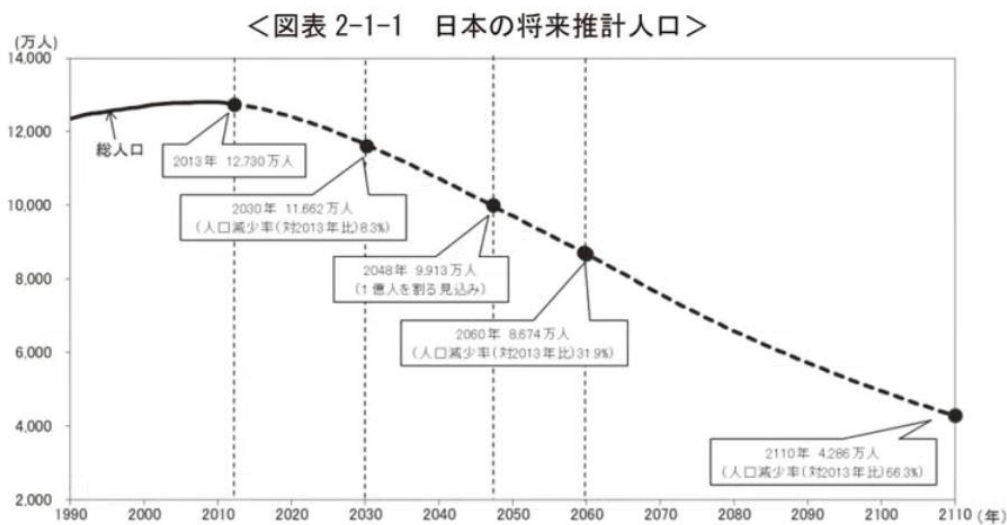


働き方改革

労働環境の改善は、企業だけでなくいまや国全体に関わる課題です。

働き方改革とは、少子高齢化が進む中でも「50年後も人口1億人を維持し、職場・家庭・地域で誰しものが活躍できる社会」を実現するための改革です。

日本の将来人口推計で、2105年には4500万人まで減少するといわれ、労働人口（生産年齢人口）は2060年にはピーク時の半分になるといわれています。このままでは、国全体の生産力低下・国力の低下は避けられないとして、国も本格的に「働き方改革」に乗り出しました。



(備考)

1. 1990年から2013年までの実績は、総務省「国勢調査報告」「人口推計年報」、厚生労働省「人口動態統計」をもとに作成。
2. 社人研中位推計は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」をもとに作成。合計特殊出生率は、2014年まで概ね1.39で推移し、その後、2024年までに1.33に低下し、その後概ね1.35で推移。

▶詳しくはホームページでご確認ください。

働き方改革 特設サイト(厚生労働省 HP)▶

